

4477 ママチャリ冬の旅：函館山・山頂からの眺望② 153

話は、逆戻りするが、こんな出会いや、出来事、思いがあった。  
最優先事項は宿の確保。東北新幹線「函館北斗駅」から函館へ。車窓からは雪景色。  
とてもじゃないが、除雪されていたとしても、スイスイ走れるわけではない。  
心配しても始まらない。ホテル確保後、  
状況把握のために、営業していれば函館山に上ってみよう。

天気も今ひとつ。自転車の置き方、置き場所。迷惑がかからないように。  
仕事の熱心さだろうと思うのだが、ハンドルが見えていると注意するうるさい駅員さん。  
親切な駅員さんもおられる。旅は初対面。いろいろな人との出会い。  
旅では負けるが勝ち。笑ったかと思うと泣き出す天候不安定。いい時ばかりではない。  
そんな体験後、心が乱れて、自分から窮地を招かないようにと、言い聞かす。



それにしても、眼前のアンテナ塔もかすんだり、見えたり、安定しない。  
ほんの瞬きだったが、雲間から日が差し、海面が金色に輝いた。予測しがたい自然現象。

しばらく、自然現象を観察。風も強い。

傾向と対策ではないが、作戦など考えるのも一興と、しかし、手足が冷たい。

一度ホテルに戻った方がよさそう。このタイミングのお風呂は最高。

天気予報では、函館山の夜景は、難しそう。

